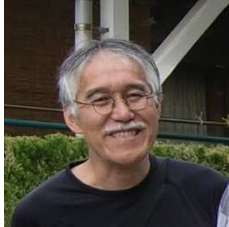


向こう三軒両隣り【最優秀賞】



設計者

嶋村泰輝・嶋村博子

◎設計主旨

津島の町は弓なりに家並みが連続し、日本的な奥行き感を形成している。ところが、間口が狭い町家は建替えに依って、前面道路沿いが駐車スペースになることが多い。空地ができると、軒の流れが方向性を失い、町並みが崩れ、近隣の関係にも距離が生まれてしまうのではないだろうか。

本計画案は、三軒長屋のうち1軒が空地となった敷地を選択し、現代の生活に合った共同住宅への変換を試みた。まちの歴史を刻んだ建物の保存再生、耐震補強対策、高齢者に配慮した居住空間のバリアフリー化に加え、地域交流を促す空間を持つことで、まちの再生を図ることとした。

空地を利用し、木造門型ラーメンにて外部から構造補強を行う。エレベーターを設け2階に新しい町家（長屋）を構築し、今までの近隣関係を保持する。1階は地域交流も可能なフリースペースを持ったインキュベーションオフィスとする。また、通りやニワを介し、まちへと広がる重層的な関係性を建物内に構築している。

まちの資産を活用し、世代を超えたコラボレーションが時間と空間を紡ぎ、次の新しい生活環境を生み出すのではないだろうか。

◎講評

○難波和彦審査委員長

通常の町家は、隣家と軒（時には壁）を接していますが、各住戸は道路に対して直角に奥に向かって伸び、中庭や天窗を持つことによって光や風を取り入れるという空間構成によって成立しています。町家の街並みは、あくまで独立した住戸の連続によってつくられている訳です。

本案はその原則を破り、奥行き方向だけでなく、それに直交する方向に町家相互の空間をつなげることによって、マトリクス的な「向こう三軒両隣り」を作り出します。直行する空間は、前面道路に平行な住戸や、随所に上下をつなぐ吹き抜け空間を生み出し、立体的な集合住宅を構成しています。さらに1階に多機能な仕事場を組み込むことによって、立体的な職住近接住宅ともなっています。

さらには、歯抜け状態になった住戸部分に耐震補強のための構造フレームを差し込み、駐車場を取り込んでいる点も、町家の構造と機能をうまく補完しています。日本の伝統的な町家に、新たに共同性を持ち込んだ説得力のある提案です。

○朝岡市郎審査委員

本町筋の空き地に門形フレームの建物による、隣接する既存の建物の構造補強と住みやすい共同住宅に変換をする提案です。現在の町家の詳細な調査と斬新な構造補強による本町筋のおもむきを保存する実現性に優れた、たいへん素晴らしい提案であることが高く評価されたと思います。

○浅野聡審査委員

この提案は、連続する三軒の町家を対象にして、一軒部分が取り壊されて空き地化したという（現実的に起こりうる）ストーリー設定のもとで、残された二軒の町家をベースにして三軒分の町家空間を再生している点に全体的によく練られた面白さがありました。

空き地を利用して門型ラーメン補強を行い、耐震性を高めるとともに敷地裏の駐車場へのアクセス空間を確保した点、前面道路に対して直行する通常の町家空間とせずに平行する空間として再生する点、一階と二階の用途を分離して一階は新たな交流スペースやインキュベーションオフィスとして利用する点などに高い独創性と魅力があったと思います。

○生田京子審査委員

三軒の町家を繋ぎ、一体に改修デザインをすることで、駐車場確保の問題を解決し、新しい住民像が期待できるようなオフィス空間の挿入や、交流スペースの創出を行っている。改修方法は大胆で、縦奥に長い町家にもかかわらず、2階を1階とは直行する横向きに繋ぎ、そのことで光・風・視線の通る空間を創出している。実現しそうなリアリティとともに野心的な面も失わないバランスの良さが評価された。

○清水裕之審査委員

多くの案が、まちづくりの視点から、集団としての町屋のあり方を提案していたのに対して、この案は、単体としての町屋とその隣接する空地进行を再構築することで新しい空間性を生み出そうとする建築的な試みが秀でていた。特に、縦に長い町屋を、適度な外部空間を創出させながら、伝統の3間モジュールに基づいて、横の層として再生させた力量は非常に高いものがある。

また、軸組の町屋に対してあえて木造門型ラーメンフレームによって構造補強を行うというアイデアも秀逸である。ただ、残念なのは、プレゼンテーションの表現が雑な点であり、審査員は、その中から秀逸なアイデアを読み取るために時間を要した。

○日比一昭審査委員

空き地となった町並みの一部を利用して、「向こう三軒両隣り」として、町並みを再生し、現実的な機能空間を創り出しており、大変に参考になる提案であった。1階を交流スペース等の賑わえるスペース、2階を現代版町家として「住」を確保し、吹抜けによりうまくまちを重層的に継いでいる。車庫スペースもうまく設けている。

さらにファサードなどのデザイン性の発展を期待するものであるが、津島型町家の住宅モデルの実現可能な提案であり、このアイデアで町並みが再生できれば、素晴らしいと考える。